

山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

平成29年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- 1/10 年賀寺例
- 1/17 阪神淡路大震災23回忌
- 2/3 大節分会
- 2/15 釈尊涅槃会
- 3/11 東日本大震災7回忌法要
- 3/12 大般若会大施食会法要
- 3月中旬 筆供養法要
- 3/17~3/23 春季彼岸会
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 5/12~5/16 現代名僧墨蹟展
- 5/24~5/26 梅花全国大会
- 6/22 第60回梅花県大会
- 7/13~7/16 新暦盂蘭盆会
京浜地区檀信徒棚経
- 7/21 日航機事故33回忌法要
- 7/31~8/1 第36回仁叟寺子供禅の集い
- 8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- 11/1~11/5 梅花授戒会
- 11/20~11/23 宗務所県檀信徒研修旅行
- 12/8 釈尊成道会
- 12/10 歳暮寺例
- 12/31 除夜会
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講・華道教室
- ※群馬県宗務所執務日
月・水・金曜日

除夜会及び大節分会報告



↑ 除夜の鐘
→ ↓ 大節分会風景



本年も総代世話人様はじめ多くの皆様のご協力を以て、伝統の行事をつとめることができました。有難うございました。

節分会来賓の蘭華寺様、中曽根弘文様、福田達夫様、飯塚邦広様、清水真人様、寺本欣一治様、多謝。

→ 上毛新聞記事 ↓ 赤鬼も登場



高崎 高さ80尺から
福豆 2000人分
仁叟寺

高崎市の吉井町神保の仁叟寺(渡辺啓司住職)は3日、境内で節分会を開いた。高さ80尺の文殊堂から飛んでくる福豆をつかもうと、大勢の参拝客が夢中で手を伸ばした。

渡辺住職や来賓らが「福は内」という掛け声とともに福豆やラーメン、座布団、ホテル宿泊券などが当たるカラーボールを投げた。3回の節分会で福豆など、計2千人分がまかれ、にぎわった。

文殊堂から福豆を投げる来賓ら

新井徳衛 総代長退任挨拶

新井徳衛
総代長



この度、仁叟寺の総代長、責任役員を辞任させていただくこととなりました。

住職様より突然のご指名を受け、迷いはありましたが、一步一步踏み出し歩んだ足跡を振り返ると、今は尊いご縁を与えていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいであります。これも住職様はじめ総代さん役員さんの皆様からのあたたかいご理解ご協力をいただいた結果であり、誠に有難く、厚く御礼申し上げます。

これからも、責任役員は辞しても、総代人として残留し、法燈の護持と後任者にご協力申し上げ、今まで賜りました御恩に報いる所存です。

おわりに、菩提寺の益々のご繁栄と檀信徒皆々様のご多幸を祈念申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

おわりに、菩提寺の益々のご繁栄と檀信徒皆々様のご多幸を祈念申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

矢島正義 新総代長就任挨拶

矢島正義
新総代長



常日頃、皆様には仁叟寺の行事など大変お世話になっております。特に会議等の参加率が、何時も90パーセントを超えるご協力をいただいております。このような皆様方の護持の念厚きご協力は、何処の寺院でもないことと確信しております。

さて、この度、私こと、新井徳衛総代長の後任として、仁叟寺総代長に就任することとなりました。至らないところも多々あるかもしれませんが、ご支援ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

総代人交代 世話人退任報告

塩地区の橋爪勝総代人が退任され、新たに向井敏昭氏が総代人として就任されました。また、長年に亘り世話人をつとめていただきました吉井晃氏が退任いたしました。退任されます各氏には、大般若会大施食会法要の後、感謝状を、新たに就任されます各氏には委嘱状を、それぞれ記念品と共に授与いたしました。退任されます新井徳衛氏、橋爪勝氏、吉井晃氏、有難うございました。矢島正義氏、向井敏昭氏、宜しくお願い申し上げます。

に叟寺総代人一同

矢島正義	新井徳衛	篠崎和男
森 久	堀越兼一	神保堯男
酒井範明	神保武長	向井敏昭

現代名僧墨蹟展のご案内

副住職が昨年まで会長をつとめておりました群馬県曹洞宗青年会は、本年創立55周年を迎えます。記念事業として、5月12日～16日に、高崎市シティギャラリーに於いて、「現代名僧墨蹟展」を開催する運びとなりました。

曹洞宗は勿論、宗派を超えた名僧の墨蹟が高崎に集い、また中国及びスリランカの名僧にもご協力を賜りました。ほか、群馬県書道協会、高崎市書道会、草月流竹内社中、高崎経済大学茶道部等々、書道・華道・茶道という日本文化を代表する地元有志の皆様による後援もいただきました。

同展はチャリティでもあり、収益は東日本大震災及び熊本地震の被災地教育関連への支援金として活用させていただく予定です。是非、足をお運びいただき、現代名僧の墨蹟に触れ、心安らぐ時間をお過ごし下さい。

また、墨蹟展のほか11月には梅花授戒会が、曹洞宗群馬県宗務所主催で梅花部60周年、青年会55周年を記念し修行されます。奮ってのご参加をお願い申し上げます。

群馬県曹洞宗青年会 創立55周年記念

現代名僧墨蹟展

高崎シティギャラリー 拝観無料

〒370-0829 群馬県高崎市高松町 35-1

平成 29年 5月12日(金)～16日(火)
午前10時～午後5時

群馬県曹洞宗青年会の創立55周年記念事業として、現代の名僧の方々の墨蹟展を開催致します。墨蹟を通じて私の「みおしえ」に触れていただき、皆さまの心をより豊かにして頂ければ幸いです。多くの皆さまのご来場をお待ちしております。



金剛峰寺 庭主 中西 啓賢 大僧正



大本山持守寺 貫首 江川 聖賢下



大本山永平寺 貫首 福山 隆徳下



高崎清水寺 貫首 森 謙徳下

お問合せ 墨蹟展事務局 TEL 080-9380-8326 (事務局直通)

<主催>群馬県曹洞宗青年会 <協賛>曹洞宗群馬県宗務所
 <後援>大本山永平寺、大本山持守寺、群馬県仏教連合会、仏教伝道協会、洞上墨蹟研究会、国際文化交流協会、群馬県書道協会、高崎書道会、草月流竹内社中、上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA、ラジオ高崎、高崎経済大学茶道部

自らを洲とする ～社会福祉協議会だより～

ご存知ですか 吉井地域の指定避難所

じん そう じ
「仁叟寺」

連絡先 渡辺啓司 (仁叟寺住職)
☎027-387-3080



● 避難所となった経緯を教えてください。

副住職が東日本大震災の復興支援をしている時に、寺院や神社に避難している被災者が多いことを知り、仁叟寺も地区の皆さんのためにもっと活用できないかと考えたことがきっかけでした。

高崎市も初めての事例でしたが、地区の皆さんが協力して署名を集めて提出したことで、公的機関以外の施設では、市だけではなく県としても初めての指定避難所として認められました。

● 避難所としての特長について教えてください。

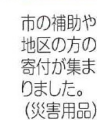
仁叟寺は地区の皆さんによく知られていて、広いスペースがあるので避難所に適しています。避難所となったことで、停電に備えた自家発電機や、手回し発電機付きの自動販売機、簡易トイレなど、様々な設備や物資のご寄付をいただきました。

地区の方が集まって、消火訓練やAEDの講習も行いました。次は備蓄品の入れ替えに合わせて炊き出し訓練を予定しています。

「今後も、より多くの人を救える体制づくりのため、地域の防災の拠点として避難所のネットワークを広げていきたいと考えています」と渡辺さんはおっしゃっていました。



◀停電してもすぐに稼働します。(自家発電機)



消火器の使い方を練習しました。

コトバ 高崎市は、災害時に市民の避難状況を的確に把握し、救援物資を配送する目的で、町内会や自主防災組織が設ける避難所を事前登録する「届出避難所登録制度」の導入を発表しました。

今年2月1日付けの「高崎市吉井地区社会福祉協議会だより」第15号に、仁叟寺が行っております高崎市指定避難所としての取り組みが記事になり、紹介されました。

同だよりは、市社会福祉協議会吉井支所により吉井地区全戸に配布されました。万一災害が発生した際には、迅速かつ丁寧に対処出来るよう、行政と綿密に連携し、引き続き地域と共に取り組んで参りたいと考えております。

本年は、阪神淡路大震災23回忌、東日本大震災7回忌の節目の年でもあります。ご冥福をお祈りいたしますと共に、是非、ご家庭に於いても、改めて防災備災について話し合いをされますよう、お願いいたします。

平成28年度寄進者一覧（順不同、敬称略）

番号	地域	ご芳名	寄進品物
1	奥平	飯塚 清雄	会館用椅子10脚
2	高崎	櫻井 繁樹	金箔六紋(曲)屏風
3	軽井沢	中澤 秀代	金箔青銅香炉
4	南陽台	東條 宏	櫨製蓮型香炉・香合セット
5	高崎	森 富美男	奈良晒麻極上 両山寺紋八九条袈裟
6	仁叟寺寺族	渡辺 テル	南毛霊場十八番札所 上州霊場十八番札所 千手観世音菩薩像修復費用
7	塩	神宮 誠	原色日本の美術 全30巻
8	吉井川	新井 徳衛	大雄山霊木杉机2脚
9	吉井川	野口 春男	特注鼈甲中啓桐箱入
10	吉井川	峯崎 瑞子	黄恩衣冬用塩瀬
11	長根	金田 藤男	銅製金箔三宝一対
12	長根	(有)上原建設 上原 久男	本堂廊下床下補強工事
13	東京	向井 重郷	金綴九条袈裟・立帽子坐具付
14	-	新盆檀信徒一同	本堂南面二間畳新調30畳

御寄進、誠に有難うございました
合掌

坐禅会、梅花講、華道教室 参加者募集中

定例の坐禅会は、毎週水曜日夜7時から副住職が、梅花講は毎月隔週水曜日午後、華道教室は随時に、当山に於いて行っております。また、本年で第36回目となる「仁叟寺子供禅の集い」も、恒例の夏休み中、7月31日～8月1日に掛けて予定をしております。興味関心のある方は、お気軽に当山までお問い合わせ下さい。

行雲流水（編集後記）

編集人 副住職 渡辺龍道

当方が副住職と兼ねて住職をつとめます龍源寺は、仁叟寺の末寺であり、今から約370年ほど前の正保3年（1646）、九世日洲壽朔大和尚が開かれました。多胡地区に所在し、出世寺・修行寺とも云われ、当山住職を経て仁叟寺に昇る和尚様が多くおられました。

現在、その龍源寺に於いて、10年以上に亘り慎重審議を重ねました本堂の再建計画が、鋭意進んでおります。多くの善意と真心をもってなされていることに厚く感謝をしております。合掌（龍）

